

イニシエーションスピーチ

(田仲 文郎 会員)

まず最初によく聞かれる苗字のことなのですが、「田仲」のにんべんがなぜついているのかは、よくわかりません。ただ、各地に少しずつあるみたいなので、昔の人が一定の確率で間違ったか面白がってこの字を使ったんじゃないかと思っています。当家のルーツは京都府の日本海側の豊岡というところで、京都に酒造りに出稼ぎに来ていた杜氏だったということで、酒と縁の深い、酒好きの家系です。私自身は京都生まれの京都市育ちで、山田会員と同じ昭和55年に国鉄に入社、技術屋なので神戸の工場で機関車用のディーゼルエンジンのオーバーホールから仕事を始めました。当時の国鉄は労使関係が悪く、毎朝長々と朝礼を行わされたり、ビラを貼られたりしましたし、私も結婚式の主賓の挨拶の中で「勤務中に風呂に入らぬように」といやみを言われたほどでした。

その後JRになりいろんな職場を経験しましたが、九州に縁のある仕事では博多南線の開業関係業務に携わりました。運輸省や他の交通事業者との調整など様々な難関を乗り越え実現した博多南線で、今では毎日六千人もの方々が通勤・通学されているということで、感慨深いものがあります。また、当クラブとの関係も深い台湾で、台湾新幹線売り込みのためのセミナーの講師をしたこともありました。当時の専務と二人で出張に出かける朝、関空行きの列車の時刻を間違えて遅刻し、青くなって車で列車を追いかけた思い出があります。今年の九州新幹線全線開業の時には那珂川町の車両基地におりダイヤ改正のための車両整備を行いました。前日の東日本大震災で新幹線のダイヤがめっちゃめっちゃになり、計画を一からやり直さなければならない状況の中無事に準備を完了し、初列車から正常運転を行うことができました。

広報部門に所属したことも何回かありました。その際、社長交代に2回遭遇し、事前の予告が無い中会見や取材対応などドタバタした思い出があります。そのほか社員のミスによるトラブルの広報などは大変つらい思いを何度もしました。現在、新幹線の基地の所長も兼任していますので、新幹線で決して大事故をおこさぬよう、毎日社員一同安全最優先で頑張っています。今後ともよろしく願います。